ガガガ編集部ログ

ガガガがやらなきゃ誰がやる! ガんばっている 編集部の苦悩に満ちた舞台裏を実況中継!!

好評 発売中!!!



GAGAGA カテゴリー

更新情報 (32) 作品紹介 (118) 不定期ガ雑記 (4)

CAGAGA 最新のエントリー

祝「このラノ2022」ランクイン!
『ミモザの告白』著者・八目迷先生インタビュー! (12/17)
『現実でラブコメできないとだれが決めた?4』本日発売!ついにメインヒロインの過去が明かされる!!
(09/17)

<u>『千歳くんはラムネ瓶のなか6』本日</u> 発売!シリーズ前半を締めくくる一大 巨編!! (08/19)

どこまでもエモい成長物語――おしえ も、ここに堂々完結。(06/18) 上坂すみれさんとのコラボも! 「董

<u>上坂すみれさんとのコラボも! 「</u> <u>白伝4」本日発売です!</u> (06/18)

CAGAGA バックナンバー

<u>December 2021</u> (1)

September 2021 (1)

<u>August 2021</u> (1)

June 2021 (2) May 2021 (3)

April 2021 (2)

<u>January 2021</u> (5)

<u>December 2020</u> (1)

November 2020 (4)

October 2020 (2)

September 2020 (5)

August 2020 (3)

<u>July 2020</u> (4)

<u>June 2020</u> (5)

May 2020 (1)

April 2020 (7)

March 2020 (3)

February 2020 (3)

<u>January 2020</u> (2) <u>December 2019</u> (2)

November 2019 (5)

October 2019 (9)

<u>September 2019</u> (7)

<u>August 2019</u> (2)

<u>July 2019</u> (10)

June 2019 (4) May 2019 (7)

April 2019 (8)

March 2019 (6)

February 2019 (4)

January 2019 (5)

December 2018 (8)

November 2018 (6)

October 2018 (9)

<u>September 2018</u> (7)

August 2018 (5)

ガガガ文庫で青空が強い表紙って名作が多いよねって話。 >>

『夏へのトンネル、さよならの出口』 未発表の書き下ろし短編小説を公開!

+♥ 0

『夏へのトンネル、さよならの出口』 (著:八目迷 イラスト:くっか)



7月18日の発売日以降、一般の方々、業界関係者、 さまざまな方から感想をいただいております!

胸を熱くさせながら、ひとつひとつ大切に目を通させていただいています。

そんな時に、八目 迷先生がつい先ほど、 発売の記念にと、短編小説を書き下ろしてくださいました!!!!

タイトルは、

『あぜ道は夏の終わりに続いてる。』

なにげない日常の一コマを切り取ったこちらの短編小説の中に、 本編のネタバレはありませんので、 まだ本編を読まれていない方も安心して読めます。

けれど、

すでに読まれている方には……。

それでは、どうぞ!

あぜ道は夏の終わりに続いてる。

GAGAGA 部ログについて

小学館ガガガ文庫編集部の公式プログです。 ガガガ文庫編集部からの速報や 担当編集者による作品紹介など随時アップデート。公式サイト

「GAGAGA WIRE」の更新情報もお 伝えします。

CAGAGA ガガガ文庫について

2007年5月創刊の少年向けエンタテインメントノベル文庫です。

ガガガガWIRE ガガガ文庫!!! 毎月18日頃発売

毎月1回の二コニコ動画生放送番組

月刊ガガガチャンネル





















July 2018 (6) June 2018 (9) May 2018 (7) April 2018 (6) March 2018 (17) February 2018 (6) January 2018 (6) December 2017 (4) November 2017 (7) October 2017 (6) <u>September 2017</u> (4) August 2017 (6) July 2017 (7) June 2017 (5) May 2017 (7) April 2017 (6) March 2017 (5) February 2017 (5) January 2017 (9) December 2016 (6) November 2016 (6) October 2016 (8) <u>September 2016</u> (4) August 2016 (6) <u>July 2016</u> (9) June 2016 (5) May 2016 (8) April 2016 (5) March 2016 (8) February 2016 (5) January 2016 (6) December 2015 (5) November 2015 (5) October 2015 (6)

<u>September 2015</u> (8) <u>August 2015</u> (7)

June 2015 (8)

<u>May 2015</u> (9) <u>April 2015</u> (6)

March 2015 (7)

「お兄ちゃん! 起きて!」

元気いっぱいの甲高い声が、僕の眠りをパチンと覚ます。それと同時に、セミの鳴き 声が耳に流れ込んできて、僕は朝の訪れを知る。

接着剤でくっつけたみたいな重い瞼を開けると、視界に広がるのは見慣れた天井ではなく、間近に迫ったカレンの顔だった。頭の後ろから垂れたポニーテールが僕の頬をくすぐる。

「ほらもう六時だよ! 早く行かなきゃラジオ体操に間に合わないよ~!」「分かった分かった……起きるよ。起きるから、ベッドから降りて」「はーい!」

カレンはベッドから飛び降りると、パタパタと駆けて僕の部屋から出て行く。その後ろ姿を見送って僕は起き上がる。勉強机の上に目をやると、夏休みの宿題である算数ドリルの横に、ラジオ体操のスタンプカードが見えた。

小学六年生の僕と四年生のカレンは、夏休みの早朝に行われるラジオ体操に参加すると、お菓子や鉛筆なんかがもらえる。カレンはそれが目当てで張り切っているのだ。単に身体を動かしたいだけかもしれないけど。

スタンプカードを手に取り、部屋を出る。

母さんと父さんに「おはよう」をして、洗面所で顔を洗う。朝ごはんをカレンと一緒 に済ませると、着替えてから、二人で「行ってきます」と言って家を出た。

外の空気はひんやりしていて気持ちがよかった。昼間は鬱陶しく感じる蝉しぐれも、この時間帯はどことなく穏やかに聞こえる。

しばらく国道に沿って進んだあと、道を外れてあぜ道に入った。この先にある神社で ラジオ体操は行われる。

「あ! 見て見て! ギンヤンマ!」

カレンは一匹の大きなトンボを指差すと、嬉しそうにそれを追いかけ始めた。トンボ 一匹で大はしゃぎするカレンが可笑しくて、僕はつい顔が綻ぶ。

そのとき、背後から強い潮風が吹いた。

田んぽが、四角く切り取られた海のように波打つ。みずみずしい稲の葉は、さわさわと音を立てて擦れ合う。僕は無意識のうちに足を止め、目の前の光景に見入っていた。「お兄ちゃん、どしたの? 眠い?」

不思議そうに声をかけてきたカレンに、僕は「ううん」と首を振って答える。

「夏休みがずっと続けばいいのにって、そう思ってさ」

カレンは「そうだね」と言って笑った。

夏休みはもうしばらくある。八月が終わるまで毎日カレンと遊べると思うと、胸が踊った。

――明日は、カレンと何をして遊ぼうかな。

そんなことを思いながら、僕はあぜ道の先に歩を進めた。

--7--

<u>Tweet</u>

| 2019.07.20 Saturday | - | <u>23:09</u> | - | - | by <u>濱</u>



____ このページの先頭へ▲



eShogakukan Inc. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission. 掲載の記事・写真・イラスト等のすべてのコンテンツの無断複写・転載を禁じます。